



十二月 (大) 師走

虚宿

十二月七日大雪の節より
月命丙子一白水星の月
暗剣殺北の方

旧十二月小
十二月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
1日	日	みづのえさる	九紫	映画の日、鉄の記念日、世界エイズデー、歳末助け合い運動、不成就日 旧十一月小	五	先負	おさん	虚	6.31	10.33	8.22	18.43
2日	月	みづのえさる	九紫	一粒万倍日	六	佛滅	ひらく	危	6.32	11.14	9.07	19.19
3日	火	きのえいぬ	二黒	障害者週間、秩父夜祭、一粒万倍日	七	大安	とづ	室	6.33	11.49	9.58	20.07
4日	水	きのえいぬ	三碧	○上弦一五時五八分、人権週間、三隣亡	八	赤口	たつ	壁	6.34	12.21	10.58	21.22
5日	木	きのえいぬ	四緑	納めの水天宮	九	先勝	のぞく	奎	6.35	12.49	11.14	21.39
6日	金	きのえいぬ	五黄	小田原秋葉権現火防祭	十	友引	みつ	妻	6.36	13.17	12.04	23.25
7日	土	きのえいぬ	六白	大雪一九時一八分、岡山最上稲荷火焚祭、小つち、三隣亡	十一	先負	みつ	胃	6.37	13.44	13.03	19.47
8日	日	つちのとう	七赤	こと納め、針供養、納めの薬師、成道会	十二	佛滅	たいら	昴	6.38	14.12	14.25	21.04
9日	月	かえたと	八白	京都了徳寺大根焚き、漱石忌、不成就日	十三	大安	さだん	畢	6.39	14.41	15.56	21.37
10日	火	かのと	九紫	世界人権デー、納めの金毘羅、大宮水川神社大湯祭	十四	赤口	とる	觜	6.40	15.14	16.26	22.10
11日	水	みづのえさる	一白	○望一四時一二分	十五	先勝	やぶる	参	6.41	15.52	17.30	23.19
12日	木	みづのえさる	二黒	十方ぐれ入り	十六	友引	あやぶ	井	6.42	16.28	18.45	24.44
13日	金	きのえさる	三碧	東京浅草観音歳の市、伊勢神宮月次祭、奈良春日大社若宮おん祭、一粒万倍日、不成就日	十七	先負	なる	鬼	6.43	16.57	20.09	25.77
14日	土	きのえさる	四緑	納めの観音	十八	佛滅	おさん	柳	6.44	17.27	21.32	27.11

一年の締めくくりにあつて、年間を通じて最も短い月である。この月の別名として「師走」の呼称が通例になっているのは、やはり一般に師匠までも走り出す月、という人間味を伴った語感のせいであろうか。

年の最後の月として、各地でいろいろな行事や祭祀があるが、だいたい納めや供養である。

今年一年間の喜び、反省等、それらを思い返し、整理すること、来る年への指針となし期待を持ち、そして自戒するべきものがあるれば心に誓うべきであろう。

「祭」歳暮とは元来年の暮のことであるが、日ごろ世話になつてゐる人や親戚などへの贈り物がいつのころから「お歳暮」というなら正月始まつた。この月の八日か十三日から、正月を迎える準備をし始めることを

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
15日	日	ひのえいぬ	五黄	年賀郵便特別扱い、東京世田谷ボロ市	十九	大安	ひらく	星	6.43	16.29	19.29	12.50
16日	月	ひのと	六白	一粒万倍日	廿	赤口	とづ	張	6.43	16.29	18.45	13.32
17日	火	つちのえね	七赤	東京浅草観音歳の市、伊勢神宮月次祭、奈良春日大社若宮おん祭、一粒万倍日、不成就日	廿一	先勝	たつ	翼	6.44	17.00	20.09	14.06
18日	水	つちのとう	八白	納めの観音	廿二	友引	のぞく	軫	6.45	17.27	21.32	15.27
19日	木	かえと	九紫	○下弦一三時五七分、三隣亡	廿三	先負	みつ	角	6.45	18.00	22.52	16.48
20日	金	かのと	一白		廿四	佛滅	たいら	亢	6.46	18.31	24.00	18.39
21日	土	みづのえさる	二黒	納めの大師	廿五	大安	さだん	氏	6.46	19.04	25.11	19.46
22日	日	みづのとみ	三碧	冬至一三時一九分、ゆず湯、天一天上	廿六	赤口	とる	房	6.47	19.32	26.22	20.36
23日	月	きのえうま	四緑	平成の天皇誕生日	廿七	先勝	やぶる	心	6.47	20.07	27.33	21.20
24日	火	きのとひつじ	五黄	クリスマス・イブ、納めの地藏	廿八	友引	あやぶ	尾	6.48	20.36	28.44	22.01
25日	水	ひのえさる	六白	クリスマス、終い天神、蕪村忌、不成就日	廿九	先負	なる	箕	6.48	21.09	29.55	22.41
26日	木	ひのと	七赤	●朔一四時一三分 旧十二月大	朔	赤口	おさん	斗	6.49	21.42	31.06	23.22
27日	金	つちのえいぬ	八白	官庁御用納め	二	先勝	ひらく	牛	6.49	22.15	32.17	24.03
28日	土	つちのとみ	九紫	納めの不動、一粒万倍日	三	友引	とづ	女	6.49	22.48	33.28	24.44
29日	日	かえと	一白	一粒万倍日	四	先負	たつ	虚	6.50	23.21	34.39	25.25
30日	月	かのと	二黒		五	佛滅	のぞく	危	6.50	23.54	35.50	26.06
31日	火	みづのえさる	三碧	年越し、犬はらい、除夜の鐘、男鹿なまはげ、出羽三山松例祭、三隣亡、不成就日	六	大安	みつ	室	6.50	24.27	37.01	26.47

いう古い習慣で、すす払いから着手したものである。二十二日前後に二十四節氣の一つ「冬至」がある。この日北半球では最も日が短く、北の半球を境に日脚が延びるので、地方によりそれぞれ行事を持つてゐる。「ゆず湯」に入る習慣は全国的に知られてゐる。二十五日はキリストの降誕日で、その前夜の「クリスマスイブ」とともに、欧米では正月よりも盛大に祝う。わが国でもキリスト教とは関係なくツリーを飾つたり、プレゼントをし合つたりする家庭も多い。

新年を迎える正月の飾り物は、三十日までには用意を終えるが、二十九日は苦しい、三十日は一夜飾りと失礼に当たるといふので、なるべく早めの準備を心掛けるべきである。

大晦日(おみそか)の夜は年棚にお灯明をあげたり、年越しそば(みそそば)を食べたり、神社や寺院に参詣したりし、その土地土地によつて独特の習慣を持つてゐたりする。